

【質問】母が認知症みたいなのですが、どこに相談したらいいでしょうか。
(59歳、会社員)



認知症対策

【回答】認知症の初期は

認知症なのか、年齢からくるただの物忘れなのか、判断に困ることが多く見受けられます。このような時期に家族が心配し、本人に専門医への受診を勧めても、

受診に応じてもらえない場合が多いのが現実です。本人が何らかの病気で、

かかりつけ医がいる場合は、認知症の専門外であっても、相談されることをお勧めします。かかりつけ医がいな

専門チームが集中支援

初期段階の悪化防止重視

「分らしく暮らし続けることができる社会を実現する」ために、認知症施策推進

初期・事前段階の対策を充実させるため、各自治体に認知症初期集中支援チームを作ることを求めました。さらに今年6月には、新たな認知症対策の大綱がまとめられる予定です。支援チームは、本人や家族の訴えに応じて、複数

方に暮れてしまう場合も少なくありません。その場合は各自自治体の地域包括支援センターか、相談窓口へ相談してください。

増え続ける認知症対策の一環として、厚生労働省は「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域に、よい環境で、自

援の機能を整備しました。この中では、従来の認知症対策・ケアから転換を図り、早期支援や危機回避支

5カ年計画（オレンジプラン）を2012年9月に公表。15年1月、これを改めた認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）を策定しました。

の専門職が家庭を訪問します。情報収集後に、専門医を含めた専門職の会議で受診が必要かどうかなどを決定。医療機関への紹介、情報共有、介護専門相談員への引き継ぎなどを行います。40歳以上で家で生活しており、認知症が疑われる人、または認知症の人で、現在、

治療や医療・介護サービスを受けていない人が対象となります。

認知症の人は今後、ますます増えてくると思われま

す。しかし、具体的な予防方法は現時点ではつきりしたものがなく、誰でもなる可能性があります。ただ、家族の支援を含め、初期の段階から、適切な支援を集中的かつ包括的に行うことで、問題となる異常行動を抑え、病状の進行を遅らせることが可能です。

（県医師会）

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。